

**BW-700/800/880 Series**

**バーコードリーダー**

**取扱説明書**

***AMEX***

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	Oct.2004(初版)
Rev.1.1	Dec.2004(誤記訂正)
Rev.1.2	Mar.2005(初期設定変更)
Rev.1.3	Oct.2006(誤記訂正)
Rev.1.4	Apr.2007(型式変更)
Rev.1.5	Jul.2009(誤記訂正)

- 1.本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 2.本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 3.本書内に記載されている製品名等は各社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

## **製品保証と注意事項**

### 「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。  
但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由の場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### 「修理」

修理は全てセンドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害(ラジオ・テレビなどの受信障害)が起こることがあります。

### 「その他」

納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

## お取扱上のご注意



- 本製品を使用する前に必ず、取扱説明書をお読みください。
- 本製品の分解や改造はしないでください。
- 本製品の取り付け / 取り外しをするときは、本製品及びパソコン・周辺機器の電源スイッチを切り、電源プラグをACコンセントから抜いて下さい。
- 本製品を接続する機器(パソコンなど)は、必ずアース接地してください。



- 電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 次の場所への保管・設置は避けてください。

静電気が発生するところ  
振動が発生するところ  
温度・湿度が仕様環境を超えるところ  
直射日光が当たるところ  
火気の周辺、または熱気のかもるところ  
漏電の危険があるところ  
漏水の危険があるところ

- 規格外品質のバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので、ご注意ください。
- シンナーやベンジンで本装置を拭かないでください。

## 目次

1. はじめに	4
設置	4
設定方法	4
設定の流れ	5
データの付加される順番	5
初期設定値	6
取り扱い説明書の書式	7
FAQ	8
2. インターフェース	10
初期設定	10
キーボードインターフェース	11
RS-232C	15
3. 機能設定	19
4. シンボル	24
UPC-A	24
UPC-E	26
EAN-13 (ISBN/ISSN)	28
EAN-8	30
CODE-39 (CODE-32)	32
Interleaved 2 of 5 (Odd S-code)	34
Industrial 2 of 5	36
Matrix 2 of 5	38
Codabar/NW7	40
Code-128	42
Code-93	44
Code-11	46
5. データ編集	48
プレアンブル/ポストアンブル	48
プリフィックス/サフィックス	49
その他	50
6. サンプルバーコード	52
7. ASCII Code表	53

## 設置

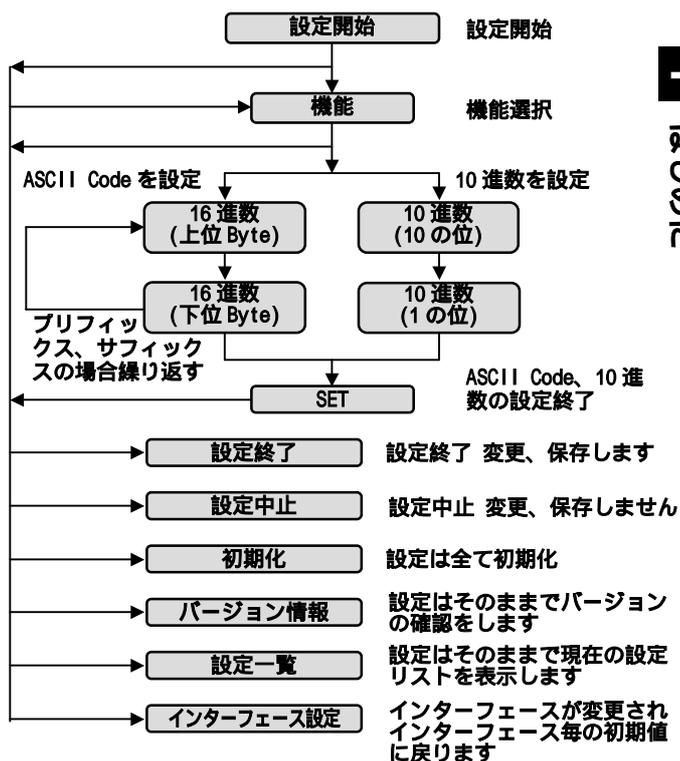
- 1) スキャナを接続する前に機器の電源が切れている事を確認してください。そして、スキャナのケーブル・コネクタと機器のインターフェースコネクタと一致する事を確認してください。
  - 2) スキャナを機器に接続しコンピュータを起動してください。スキャナはブザー発音と上部 LED の点滅で接続した事を示します。
  - 3) トリガボタンを押すと、スキャナは走査を開始します。この状態でバーコードの読取りが可能となります。また後述のバーコード設定メニューを読取るにより色々な使用法を設定できます。
- ☛ 上記のとおり行っても動作しない場合は、ただちに電源を切り接続場所や接続方法を確認の上、再度設置を行ってください。

## 設定方法

すべての設定を読取った後に設定終了を読取るにより不揮発メモリに記録されます。設定方法は以下の手順です。

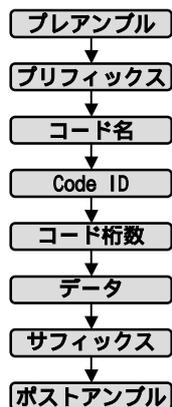
- 1) 10 ページのメニューからホストとの接続方法を指定してください。(スキャナは工場出荷時には \* 付太字の設定になってます)
  - 2) インターフェースを参照して、ホストとスキャナのオプションを設定してください。
  - 3) 出力を参照して、スキャナの詳細な設定(走査方法や省電力等)してください。
  - 4) シンボルを参照して、各バーコードの種類毎に読取りの許可やチェックデジットの有無等の設定を行ってください。
  - 5) データ編集を参照して、データに付加するデータ(プレアンブル、ポストアンブル等)の設定を行ってください。
- ☛ 設定が間違えている場合には警告音を 5 回鳴らします。再度確認して設定してください。
- ☛ 正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。

## 設定の流れ



1 はじめに

## データの付加される順番



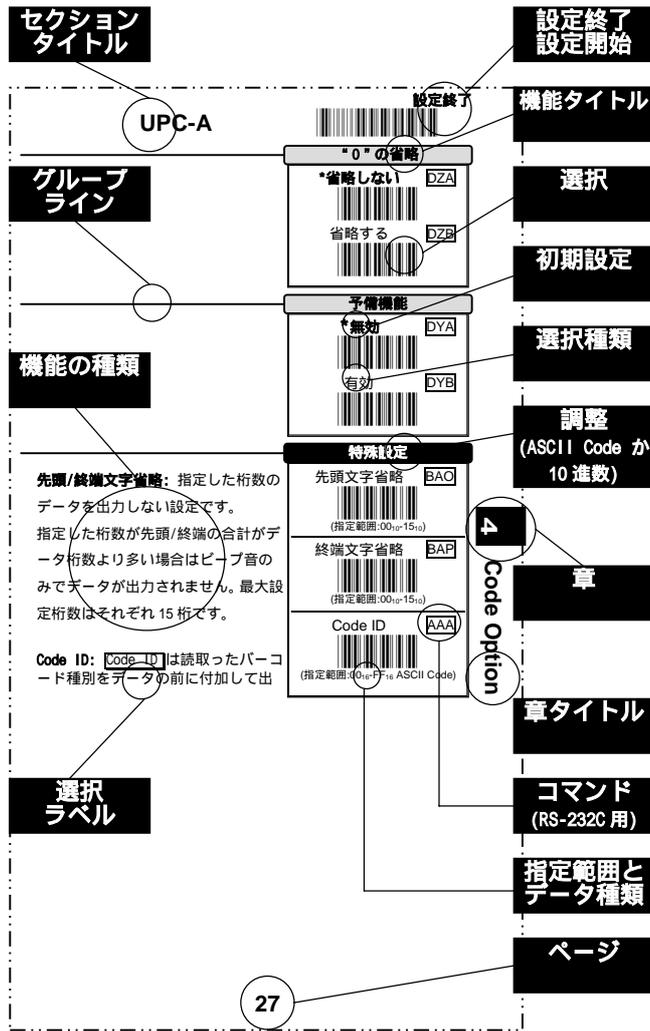
## 初期設定値

コードの種類	読取る	データ長		切り取り		Code ID
		最小	最大	先頭	終端	
UPC-A	✓	-	-	0	0	A
UPC-E	✓	-	-	0	0	E
EAN-13	✓	-	-	0	0	F
EAN-8	✓	-	-	0	0	FF
Code-39	✓	0	0	0	0	M
Interleaved 2 of 5		6	0	0	0	I
Industrial 2 of 5		4	0	0	0	H
Matrix 2 of 5		4	0	0	0	G
Codabar/NW7	✓	4	0	0	0	N
Code-128	✓	0	0	0	0	K
Code-93		4	0	0	0	L
Code-11		4	0	0	0	O

機能	値	設定
ブザー音量	05	レベル 5
ブザー音程	24	2.4 KHz
発音時間	06	60 mSec
ブザー音量 1	12	1.2 KHz
発音時間 1	06	60 mSec
待機時間	15	15 Sec
アクティブ時間	20	200 mSec
スリープ時間	20	200 mSec
読取り遅延	50	500 mSec
複数回確認	01	1 回
キャラクタ間遅延	01	1 mSec
送信遅延	00	0 mSec
反応待ち時間	30	3 Sec
補足コード待ち時間	50	500 mSec
マージン遅延	10	100 mSec
プレアンブル データ 1	00 <sub>16</sub>	<NULL>
プレアンブル データ 2	00 <sub>16</sub>	<NULL>
ポストアンブル データ 1	0D <sub>16</sub>	<CR>
ポストアンブル データ 2	0A <sub>16</sub>	<LF>
プリフィックス データ(全データ)	00 <sub>16</sub>	<NULL>
サフィックス データ(全データ)	00 <sub>16</sub>	<NULL>
連続データ	29 <sub>16</sub>	<GS>

# 取り扱い説明書の書式

バーコードラベルを読取る事で設定を変更できます。ラベルは以下の仕様で書かれています。



●初期設定値には“\*”が付いており、太字になっています。

## FAQ

**Q:キーボードが正常に動作しません。**

A:ケーブルが正常に差し込まれているか確認して、電源を再投入してください。

**Q:正読み確認 LED も点灯しますがデータが出力されません。**

A:初期状態に戻しその後、再設定をしてください。

**Q:データの後の改行は必要ありません。**

A:48 ページのポストアンプルの付加を「**付加しない**」に設定してください。

**Q:1桁のバーコードを読み取りたい。**

A:4.シンボルを参照して最小コード長を「01」に設定してください。

**Q:不明なデータを読み取りました。何のデータかを知りたい。**

A:50 ページのコード名を出力する設定で「**出力する**」を設定し再度データを読み取ってください。データとコード名が出力されます。必要であれば、4.シンボルを参照してチェックデジットの確認を「**チェックする**」に設定してください。

**Q:データの転送が非常に遅く、データが欠如します。**

A:キーボードインターフェースの場合 11 ページの Caps キー設定を「**Alt+Keypad**」に変更してください。そうでなければ、データ出力速度を変更、または「**キャラクタ間遅延**」を指定してください。

**Q:バーコードによるファンクションキー入力をしたい。**

A:この設定はキーボードインターフェースのみ有効です。11 ページを参照しファンクションキー出力設定を「**出力する**」にしてください。また、ファンクションを出力するには、52 ページにある ASCII Code(00<sub>16</sub>から 1F<sub>16</sub>まで)がデータの中に存在する必要があります。

☛ 正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。

# 1 はじめに

設定開始



## 初期設定

その他

初期化



バージョン情報



設定中止



**初期化:**全ての設定を初期設定値(\*付太字)に戻します。ただし、インターフェースの設定は初期化されませんのご注意下さい。

**バージョン情報:**ソフトウェアのバージョンを出力します。保守時に参照します。

**設定中止:**設定を中止して通常の状態に戻ります。設定途中の場合設定は破棄されます。

中止する場合は**設定終了**を読み取る前に**設定中止**を読み取ってください。

☛設定途中で“その他”のバーコードを読み取ると設定終了となります。

# キーボードインターフェース

設定終了

データの出力速度を設定します。通常は**高速**か**超高速**で使用してください。データが抜けたり画面にデータが出力されるのに時間がかかる場合は**中速**か**低速**を試してください。

## データ出力速度

低速 **CZA**

中速 **CZB**

**\*高速** **CZC**

超高速 **CZD**

ファンクションキーの設定です。**使用する**でファンクションコードを出力します。ASCII Code の 01<sub>16</sub> から 1F<sub>16</sub> の間の数値を 60,71 ページを参照して設定してください。

## ファンクションキー出力

**\*使用しない** **DBA**

使用する **DBB**

テンキーでの出力設定です。テンキー出力を必要とする場合は**テンキーコード**を使用してください。テンキーコード使用の際は Num Lock を ON にしてください。

## テンキー出力

**\*英数コード** **DAA**

テンキーコード **DAB**

Caps キーの設定です。**大文字**か**小文字**を選んでください。**Alt+Keypad**を選択すると Caps キーに影響を受けず出力されます。

## Caps キー

**\*大文字** **DDA**

小文字 **ddb**

Alt+Keypad **DDD**

**例** データ "ABCdef"

状態 設定	Caps Lock On	Caps Lock Off
大文字	ABCdef	abcDEF
小文字	abcDEF	ABCdef
Alt+Keypad	ABCdef	ABCdef

2  
インターフェース

## 設定開始



## キーボードインターフェース

### キーボードシミュレーション

DCA	<b>*デスクトップ</b>
DCB	ノート PC

ご使用になる PC のタイプを選択します。デスクトップ PC でご使用の際でも、キーボードを使用しない場合は **ノート PC** に設定してください。また、本機能を設定後は必ず PC を再起動してください。

### 予備機能

DEA	<b>*無効</b>
DEB	有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

### 特殊設定

BAL	キャラクタ間遅延
(指定範囲:00 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:1ms)	
BAM	送信遅延
(指定範囲:00 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)	

**キャラクタ間遅延:** データ読取り時に 1 桁ずつの間の遅延を設定します。データ出力速度が速く、データが落ちる場合に設定してください。

**送信遅延:** データ出力後の遅延を設定します。連続して短いバーコードを読み取る時等に設定してください。

**例** データ: "ABCD"

キャラクタ間遅延: 2ms  
送信遅延: 10ms

- 1) **設定開始** ⇒ 設定開始
- 2) **キャラクタ間遅延** ⇒ **0** ⇒ **2** ⇒ **SET** ⇒ キャラクタ間遅延を  
02\*1ms(単位)=2ms 2ms に設定
- 3) **送信遅延** ⇒ **0** ⇒ **1** ⇒ **SET** ⇒ 送信遅延を 10ms に設定  
01\*10ms(単位)=10ms 10ms に設定
- 4) **設定終了** ⇒ 設定終了

### 出力

A	2ms	B	2ms	C	2ms	D	2ms	10ms
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	------

# キーボードインターフェース



キーボードの選択です。使用しているパソコン・キーボードの種類を選択してください。

## キーボードの種類

- \*IBM AT,PS/2 DFA
- IBM XT DFB
- Macintosh ADB DFC
- IBM PS/2 25,30 DFD
- NEC 9801 DFE
- IBM PS/2 55 DFE
- IBM 5550 DFG
- KT 106 DFH
- IBM 5576 DFI
- 予備 1 DFJ
- 予備 2 DFK
- 予備 3 DFL
- 予備 4 DFM

2

インターフェース



## キーボードインターフェース

### キーボードの配置

DGA	米国 (US)
DGB	ベルギー (BE)
DGC	デンマーク (DK)
DGD	フランス (FR)
DGE	ドイツ (GR)
DGF	イタリア (IT)
DGG	ポルトガル (PO)
DGH	スペイン (SP)
DGI	スウェーデン (SV)
DGJ	スイス (SF)
DGK	英国 (UK)
DGL	ラテンアメリカ (LA)
DGM	*日本 (JP)
DGN	予備

キーボードの配置の設定です。使用しているパソコンのキーボードと同じ設定でお使いください。

MS-DOS では “ Keyb ” コマンドの設定、Windows ではコントロールパネルの中のキーボードの設定と合わせてください。詳しくはお使いの OS の取扱説明書等を参照してください。

# RS-232C



CTS: 送信可 (信号線)  
 RTS: 送信要求 (信号線)  
 STX: Start Of Text (ASCII Code 02<sub>16</sub>)  
 ETX: End Of Text (ASCII Code 03<sub>16</sub>)  
 Xon: Transmit On (ASCII Code 13<sub>16</sub>)  
 Xoff: Transmit Off (ASCII Code 11<sub>16</sub>)

**無手順:** ハンドシェイクを行わず TxD、RxD のみで通信します。

**RTS/CTS(CTS/RTS):** スキャナがホストへバーコード・データを送りたい場合、RTS(CTS)信号を最初に出し、ホストからの CTS(RTS)の信号を待ちます。ホストから CTS(RTS)信号が来た後、データ通信を実行します。タイムアウト時間内にホストからの CTS(RTS)がない場合、5 回警告音を鳴らします。

**Scanner Ready:** 電源投入時に RTS をオンにし、CTS がオンの時データを出力します。

**Data Ready:** データを読取った後 RTS をオンにし、CTS がオンの時データを出力します。

**STX/ETX:** データの前後に STX/ETX を付けて出力します。

**Xon/Xoff:** ソフトウェアフロー制御を行います。ホストから Xoff を受信したらデータの送信を停止し、Xon を受信したら送信を再開します。

**CTS Trigger:** ホストから CTS 信号線を利用してスイッチを制御することが出来ます。読取った後、次の走査が始まるまで約 50ms かかります。

\* BW-880RS-B1 をパソコンでご使用になるときは、付属の RS-Keyboard 1.0 をご使用のパソコンにインストールしていただく必要がございます。詳しくは RS-Keyboard 1.0 のフロッピーディスク内の readme.txt をご覧下さい。

## 送信手順

*無手順	DLA
RTS/CTS	DLB
CTS/RTS	DLC
Scanner Ready	DLD
Data Ready	DLE
Xon/Xoff	DLF
STX/ETX	DLG
CTS Trigger	DLH
予備	DLI



ボーレート

<input type="checkbox"/> DHA	38400Bps
<input type="checkbox"/> DHB	19200Bps
<input type="checkbox"/> DHC	9600Bps
<input type="checkbox"/> DHD	<b>*4800Bps</b>
<input type="checkbox"/> DHE	2400Bps
<input type="checkbox"/> DHF	1200Bps
<input type="checkbox"/> DHG	600Bps
<input type="checkbox"/> DHH	300Bps

通信速度の設定です。

パリティ

<input type="checkbox"/> DKA	<b>*なし</b>
<input type="checkbox"/> DKC	偶数 (Even)
<input type="checkbox"/> DKD	奇数 (Odd)
<input type="checkbox"/> DKE	Space
<input type="checkbox"/> DKF	Mark

パリティビットの設定です。

# RS-232C



<p>データ長の設定です。</p>	<p><b>データビット</b></p> <p>7ビット <input type="checkbox"/> DJA</p> <p></p> <p>*8ビット <input type="checkbox"/> DJB</p> <p></p>
<p>ストップビットの設定です。</p>	<p><b>ストップビット</b></p> <p>1ビット <input type="checkbox"/> DIA</p> <p></p> <p>*2ビット <input type="checkbox"/> DIB</p> <p></p>
<p><b>キャラクタ間遅延:</b> データキャラクタ間の遅延時間の設定です。 12 ページを参照してください。</p> <p><b>送信遅延:</b> バーコードデータ間の遅延時間の設定です。 12 ページを参照してください。</p> <p><b>反応待ち時間:</b> ハンドシェイクでのホストからの送信許可を待つ時間の設定です。指定した時間を過ぎても送信許可が無い場合は 5 回警告音を鳴らします。ホストが許可を送るまでの時間より長く設定してください。</p>	<p><b>特殊機能</b></p> <p>キャラクタ間遅延 <input type="checkbox"/> BAL (指定範囲:00<sub>10</sub>-99<sub>10</sub> 単位:1ms)</p> <p>送信遅延 <input type="checkbox"/> BAM (指定範囲:00<sub>10</sub>-99<sub>10</sub> 単位:10ms)</p> <p>反応待ち時間 <input type="checkbox"/> BAN (指定範囲:01<sub>10</sub>-99<sub>10</sub> 単位:100ms)</p>

## 2

### インターフェース

設定開始



Blank Page

## 機能設定

設定終了



起動時の音の設定です。スキャナに電源が入った時に音が鳴ります。音を鳴らさない場合は「音なし」を設定してください。

### 起動時の音

音なし  CBA



\*音あり  CBA



起動時のスイッチ動作の設定です。設定を「スイッチ動作あり」にした場合はスキャナに電源が入った時、スイッチボタンを押したのと同じ動作をします。

### 起動時のスイッチ

\*スイッチ動作なし  CCA



スイッチ動作あり  CCB



読取り確認 LED の設定です。読取りが成功した時に読取り確認 LED を点灯します。読取り確認 LED は本体背面にあります。

### 読取り確認 LED

LED 点灯しない  CDA



\*LED 点灯する  CDB



読取り確認音の設定です。読取りが成功した後にブザーが鳴ります。ブザー音は「音量」と「音程」、**発音時間**の設定で変更できます。22 ページを参照してください。

### 読取り確認ブザー

鳴らさない  CEA



\*鳴らす  CEB



パワーセーブ機能を使用するには「セーブする」を設定してください。パワーセーブ機能使用時は約 20mA で動作します。ただし、スイッチをオンした後、光源の LED が点灯するまで多少の時間がかかります。  
\*BW-880 シリーズでは設定できません。

### パワーセーブ

セーブしない  CJA



セーブする  CJB



3  
出力



## 機能設定

### 読取り照合回数

CSA	*1回
CSB	複数回

バーコード読取り時の照合回数の設定です。複数回の照合により読取りエラーを少なくする事ができます。(回数の設定方法は 23 ページを参照してください。)

\*BW-880 シリーズでは設定できません。

### 大文字・小文字変換

CTA	*変換しない
CTC	大文字変換
CTD	小文字変換

出力する全てのデータを大文字か小文字に変換します。

例) バーコードデータ "BarCode"

大文字	BARCODE
小文字	barcode

### フィールドコントロール

CRA	*1つのみ
CRB	複数個

1度の読取りで並んでいる複数個のバーコード読取りの設定です。通常状態では1度の読取りで2つのバーコードを読取りません。通常は誤認識防止の為1つしか読取りません。サンプルバーコード(巻末)のCodabar/NW7 でテストしてください。

### データ間隔

CGA	*ナロー
CGB	ワイド

Code-39 や Codabar 等、キャラクタが独立しているデータの間隔の設定です。隣のバーコードまで読んでしまう様な場合にはワイドを指定してください。

### 予備機能

CPA	*無効
CPB	有効

OEM 供給時の設定です。(通常は使用しません)

## 機能設定

設定終了



**読取り時 LED オフ:**スイッチでバーコードスキャンを開始します。データを読取った後、LED をオフにします。また、読取らなかった場合は 22 ページの **待機時間** で設定した時間で LED がオフになります。

**モーメンタリ:**スイッチを押している間だけバーコードをスキャンします。

**オルタネート:**スイッチを押すとバーコードスキャン開始します。スイッチをもう 1 度押すとスキャン終了です。

**タイムアウトオフ:**スイッチを押すとバーコードスキャンが開始され、22 ページの **待機時間** に成るまでスキャン状態を維持します。時間になるとスキャンを終了します。

**タイムアウト点滅:**スイッチを押すとバーコードスキャンが開始され、22 ページの **待機時間** に成るまでスキャン状態を維持します。時間になると LED が点滅を開始し、再度バーコードを近づけるとスキャンします。

このモードは **連続読取り** よりも消費電力が少ないですが、読取りに多少の時間がかかります。

**連続読取り:**スイッチの状態に関係なく、常時読取ります。

**テストモード:**一度データを読取るとそのデータを読み続けます。接続確認等で使用します。



3 出力



## 機能設定

### 特殊調整

BAC	ブザー音量		(指定範囲:01 <sub>10</sub> -10 <sub>10</sub> 単位:Level)
BAD	ブザー音程		(指定範囲:05 <sub>10</sub> -50 <sub>10</sub> 単位:100Hz)
BAE	発音時間		(指定範囲:01 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)
BDA	ブザー音程 1		(指定範囲:05 <sub>10</sub> -50 <sub>10</sub> 単位:100Hz)
BDB	発音時間 1		(指定範囲:00 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)
BAF	待機時間		(指定範囲:01 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:1s)
BAG	アクティブ時間		(指定範囲:10 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)
BAH	スリープ時間		(指定範囲:10 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)
BAI	読取り遅延		(指定範囲:10 <sub>10</sub> -99 <sub>10</sub> 単位:10ms)

**ブザー調整:** ブザー音量、ブザー音程、発音時間の設定です。

**待機時間:** タイムアウトまでの待機時間を 1~99 秒までの間で設定します。この設定は CCD タイプのスキヤナの 読取り時 LED オフ、タイムアウトオフ、タイムアウト点滅 で使用します。また、レーザータイプのスキヤナではレーザーダイオードの寿命を延ばす為にレーザーとモーターを止めます。

**アクティブ/スリープ時間:** タイムアウト点滅の点滅の状態の設定です。アクティブ時間は LED の点いている時間、スリープ時間は LED が消えている時間になります。

**読取り遅延:** 同じバーコードを連続で読取る場合の、読取らない時間の設定です。指定した時間は同じバーコードを読取りませんが、別なバーコードを読取る場合には関係ありません。読取り時 LED オフやテストモードではこの設定は反映されません。

## 機能設定

設定終了



**補足コード待ち時間:**WPCコードを読込んだ後に補足コードを受け付ける時間の設定です。設定された時間の間に補足コードを読取ると補足コード付きのデータとして一緒に出力します。

**複数回確認:**この設定は走査したデータが何度合致したら出力するかの設定です。通常、1回の合致をしてからデータを出力しますが、誤読が多い時には合致回数を増やしてください。なお、合致回数が多いと読取りが多少遅く感じる事があります。

**共通の最小/最大桁数:**桁数を設定するとデータのミスが少なくなります。桁数指定しない場合は0を設定してください。桁数は実際に送信されるもので、超えていた場合はデータを破棄します。最小桁数が最大桁数より大きい事が無いよう設定してください。また、最小/最大桁数が同じ場合はその桁数のみ読み取ります。EANやUPC等の桁数固定のバーコードはこの設定は適用されません。(EANやUPCはWPCと呼ばれてます)

### 特殊調整

補足コード待ち時間 [BAK]



(指定範囲:01<sub>10</sub>-99<sub>10</sub> 単位:10ms)

複数回確認 [BAJ]



(指定範囲:01<sub>10</sub>-99<sub>10</sub>)

共通の最小桁数 [BAA]



(指定範囲:01<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

共通の最大桁数 [BAB]



(指定範囲:04<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

3

出力



# UPC-A

**UPC-A の読取り**

DVA 読取らない

DVB \*読取る

**データ形式**

"0" (1桁)	データ (11桁)	C/D (1桁)
-------------	--------------	-------------

C/D=チェックデジット

**補足コードの読取り**

DWA \*読取らない

DWB 2桁読取り

DWC 5桁読取り

DWD 2桁及び5桁読取り

WPC コードの後に2桁および5桁の補足コードを読取る設定です。

**データ形式**

"0" (1桁)	データ (11桁)	C/D (1桁)	補足コード (2桁,5桁)
-------------	--------------	-------------	------------------

C/D=チェックデジット

**補足コード待ち**

DXA \*無し

DXB 有り

補足コードはWPCコードと一緒に読取る事を推奨しています。設定を有りにした場合は、23ページ補足コード待ち時間を参照した時間待つようになります。

**チェックデジット**

EAA 出力しない

EAB \*出力する

チェックデジット出力の設定です。

# UPC-A

設定終了



先頭の“0”およびそれに続く“0”のデータを省略して出力する設定です。  
例 データ "00054321"  
出力 "54321"

**“0”の省略**

\*省略しない  DZA

省略する  DZB

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

**予備機能**

\*無効  DYA

有効  DYB

**先頭/終端文字省略:** 指定した桁数のデータを出力しない設定です。指定した桁数が先頭/終端の合計がデータ桁数より多い場合はビープ音のみでデータが出力されません。最大設定桁数はそれぞれ 15 桁です。

**Code ID:**  Code ID は読取ったバーコード種別をデータの前に付加して出力する文字を指定する設定です。指定したい文字は巻末の ASCII Code 表を参照してください。この設定を有効にするには 50 ページの  Code ID 付加 を  付加する にしてください。

**特殊機能**

先頭文字省略  BAO  
(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略  BAP  
(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

Code ID  AAA  
(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4  
シンボル



# UPC-E

**UPC-E の読取り**

**ECA** 読取らない

**ECB** \*読取る

**データ形式**

"0" (1桁)	データ (7桁)	C/D (1桁)
-------------	-------------	-------------

C/D=チェックデジット

**補足コードの読取り**

**EDA** \*読取らない

**EDB** 2桁読取り

**EDC** 5桁読取り

**EDD** 2桁及び5桁読取り

**データ形式**

"0" (1桁)	データ (7桁)	C/D (1桁)	補足コード (2桁,5桁)
-------------	-------------	-------------	------------------

C/D=チェックデジット

**補足コード待ち**

**EEA** \*無し

**EEB** 有り

24 ページを参照してください。

**拡張機能**

**EFA** \*しない

**EFB** する

拡張機能の設定をします。この設定を使うことにより UPC-E や EAN-8 のデータに "0" を追加して 13 桁で出力します。

**例** データ "01236547"  
 出力 "001236000057"

# UPC-E

設定終了



24 ページを参照してください。

**チェックデジット**

出力しない  EIA

**\*出力する**  EIB

25 ページを参照してください。

**“0”の省略**

\*省略しない  EHA

省略する  EHB

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

**予備機能**

\*無効  EGA

有効  EGB

25 ページを参照してください。

**特殊機能**

先頭文字省略  BAQ  
(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略  BAR  
(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

Code ID1  AAB  
(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

Code ID2  AAC  
(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4  
シンボル

設定開始



EAN/JAN-13

**EAN/JAN-13 の読取り**

**EKA** 読取らない

**EKB** \*読取る

データ形式

データ (12桁)	C/D (1桁)
--------------	-------------

C/D=チェックデジット

**補足コードの読取り**

**ELA** \*読取らない

**ELB** 2桁読取り

**ELC** 5桁読取り

**ELD** 2桁及び5桁読取り

データ形式

データ (12桁)	C/D (1桁)	補足コード (2桁,5桁)
--------------	-------------	------------------

C/D=チェックデジット

**補足コード待ち**

**EMA** \*無し

**EMB** 有り

24 ページを参照してください。

**ISBN/ISSN 変換**

**ENA** \*変換しない

**ENB** 変換する

ISBN(International Standard Book Number)と ISSN(International Standard Serial Number)は、本や雑誌に利用されている2種類のバーコードです。ISBNはEAN-13の形式にて“978”に続く10文字のデータとなり、ISSNは“977”に続く8文字のデータとなります。

これら各コードに対応したデータ部分のみを通知させたい場合には、**変換する**を設定してください。

**例** データ "9879572222720"

**出力** "9572222724"

**例** データ "9771019248004"

**出力** "10192484"

# EAN/JAN-13

設定終了



24 ページを参照してください。

## チェックデジット

出力しない  EQA



\*出力する  EQB



25 ページを参照してください。

## “0”の省略

\*省略しない  EPA



省略する  EPB



OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

## 予備機能

\*無効  EOA



有効  EOB



25 ページを参照してください。

## 特殊機能

先頭文字省略  BAS



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略  BAT



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

Code ID  AAD



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル



# EAN/JAN-8

**EAN/JAN-8 の読取り**

**[ESA]** 読取らない

**[ESB]** \*読取る

**データ形式**

データ (7桁)	C/D (1桁)
-------------	-------------

C/D=チェックデジット

**補足コードの読取り**

**[ETA]** \*読取らない

**[ETB]** 2桁読取り

**[ETC]** 5桁読取り

**[ETD]** 2桁及び5桁読取り

**データ形式**

データ (7桁)	C/D (1桁)	補足コード (2桁, 5桁)
-------------	-------------	-------------------

C/D=チェックデジット

**補足コード待ち**

**[EUA]** \*無し

**[EUB]** 有り

24 ページを参照してください。

**拡張機能**

**[EVA]** \*しない

**[EVB]** する

26 ページを参照してください。

# EAN/JAN-8

設定終了



24 ページを参照してください。

## チェックデジット

出力しない  EYA



\*出力する  EYB



25 ページを参照してください。

## “0”省略

\*省略しない  EXA



省略する  EXB



OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

## 予備機能

\*無効  EWA



有効  EWB



25 ページを参照してください。

## 特殊機能

先頭文字削除  BAU



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字削除  BAV



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

Code ID1  AAE



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

Code ID2  AAF



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル



# CODE-39

**CODE-39 の読取り**

FAA 読取らない

FAB \*読取る

**データ形式**

スタート	データ	C/D	ストップ
"**"	(可変)	(オプション)	"**"

C/D=チェックデジット

**形式**

FBA \*標準

FBB Full ASCII

CODE-39 で **Full ASCII** を表す設定です。**Full ASCII** で出力するには“. ”、“- ”、スペース、数字、A-Z 以外のデータを“+”、“%”、“\$”、“/”で始まる 2 桁で表します。

**CODE-32 の読取り**

FCA \*読取らない

FCC 数字のみ

FCD A を含める

CODE-32 (Italian Pharmaceutica l) の読取り設定です。CODE-32 は CODE-39 と異なり 0 から 9 の数字で構成されます。オプションキャラクタの A を出力するには **A を含める** それ以外は **数字のみ** を選択してください。

**スタート/ストップ出力**

FFA \*出力しない

FFB 出力する

スタート/ストップキャラクタ出力の設定です。

**追加文字**

FEA \*追加しない

FEB 追加する

この機能はいくつかのシンボルのデータを 1 つのデータエントリとして扱う設定です。その際、追加されたコードの Code ID、プレアンブル、プリフィックスのデータは出力されません。追加コードがない場合でも同様に出力されません。

サフィックスとポストアンブルは出力されます。

# CODE-39



チェックデジットを確認する設定です。**チェックする**を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックデジットはモジュラス 43 を使用しています。

## チェックデジットの確認

\***チェックしない**  FGA



**チェックする**  FGB



チェックデジットの出力の設定です。**出力する**を設定するとデータとチェックデジットが出力されます。

## チェックデジットの出力

\***出力しない**  FHA



**出力する**  FHB



## 特殊機能

**最大、最小コード長**：データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。データ長に“0”を指定すると解除されます。他の設定については 25 ページを参照してください。

**先頭文字省略**  BAY



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

**終端文字省略**  BAZ



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

**最小コード長**  BAW



(指定範囲:01<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

**最大コード長**  BAX



(指定範囲:01<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

**Code ID**  AAG



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

**Code-32 ID**  ABH



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル



## Interleaved 2 of 5

### Interleaved2of5 の読取り

FKA	*読取らない
FKB	読取る

### データ形式

データ (可変)	C/D (オプション)
-------------	----------------

C/D=チェックデジット

### 形式

FLA	*標準
FLB	奇数コード

バーコードの形式を設定します。  
一般的な Interleaved 2 of 5 は 1 キャラクタで 2 文字の情報を表します。奇数桁のデータを読取るには **奇数コード** を選択してください。

### チェックデジットの確認

FNA	*確認しない
FNB	確認する

チェックデジットを確認する設定です。  
**チェックする**を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックデジットはモジュラス 10 を使用しています。

### チェックデジットの出力

FOA	*出力しない
FOB	出力する

33 ページを参照してください。

### 予備機能

FMA	*無効
FMB	有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

## Interleaved 2 of 5

設定終了



Interleaved 2 of 5 はデータの特徴によりデータの誤読取りし易いので、コード長が決まっている場合は**最大**、**最小コード長**で設定する事をお勧めします。  
他の設定については 25, 33 ページを参照してください。

### 特殊機能

先頭文字省略  BBC



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略  BBD



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

最小コード長  BBA



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

最大コード長  BBB



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

Code ID  AAH



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

S-Code ID  ABI



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル

設定開始



## Industrial 2 of 5

Industrial2of5の読取り	
FQA	*読取らない
FQB	読取る

### データ形式

データ (可変)	C/D (オプション)
-------------	----------------

C/D=チェックデジット

チェックデジットの確認	
FSA	*確認しない
FSB	確認する

34 ページを参照してください。

チェックデジットの出力	
FTA	*出力しない
FTB	出力する

33 ページを参照してください。

予備機能	
FRA	*無効
FRB	有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

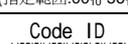
# Industrial 2 of 5

設定終了



25,33 ページを参照してください。

## 特殊機能

先頭文字省略 <input type="checkbox"/> BBG
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
終端文字省略 <input type="checkbox"/> BBH
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
最小コード長 <input type="checkbox"/> BBE
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
最大コード長 <input type="checkbox"/> BBF
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
Code ID <input type="checkbox"/> AAJ
 (指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル

設定開始



# Matrix 2 of 5

**Matrix2of5 の読取り**

FVA \*読取らない

FVB 読取る

## データ形式

データ (可変)	C/D (オプション)
-------------	----------------

C/D=チェックデジット

**チェックデジットの確認**

FXA \*確認しない

FXB 確認する

34 ページを参照してください。

**チェックデジットの出力**

FYA \*出力しない

FYB 出力する

33 ページを参照してください。

**予備機能**

FWA \*無効

FWB 有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

# Matrix 2 of 5

設定終了



25,33 ページを参照してください。

特殊機能	
先頭文字省略 <input type="checkbox"/> [BK]	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
終端文字省略 <input type="checkbox"/> [BL]	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
最小コード長 <input type="checkbox"/> [B]	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
最大コード長 <input type="checkbox"/> [B]	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
Code ID <input type="checkbox"/> [A]	 (指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル

設定開始



# Codabar/NW7

**Codabar/NW7 の読取り**

**GFA** 読取らない

**GFB** \*読取る

**データ形式**

スタート コード	データ (可変)	C/D (オプション)	ストップ コード
-------------	-------------	----------------	-------------

C/D=チェックデジット

**スタート・ストップコード**

**GGA** \*ABCD/ABCD

**GGB** abcd/abcd

**GGC** ABCD/TN\*E

**GGD** abcd/tn\*e

スタート・ストップコードの設定です。

**スタート・ストップの確認**

**GHA** \*確認しない

**GHB** 確認する

スタート・ストップコードの確認を設定します。スタートコードとストップコードが同一の場合 **確認する** に設定することによりデータの誤読を防げます。

**スタートストップの出力**

**GIA** \*出力しない

**GIB** 出力する

32 ページを参照してください。

**チェックデジットの確認**

**GJA** \*確認しない

**GJB** 確認する

チェックデジットを確認する設定です。**チェックする**を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックデジットはモジュラス 16 を使用しています。

## Codabar/NW7

設定終了



33 ページを参照してください。

### チェックデジットの出力

\*出力しない  GKA



出力する  GKB



25, 33 ページを参照してください。

### 特殊機能

先頭文字省略  BBS



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略  BBT



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

最小コード長  BBQ



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

最大コード長  BBR



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

Code ID  AAL



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル



## Code-128

**Code-128 の読取り**

GMA 読取らない

GMB \*読取る

**データ形式**

データ (可変)	C/D (オプション)
-------------	----------------

C/D=チェックデジット

**形式**

GNA \*標準

GNB UCC/EAN-128

出力形式の設定です。Code-128 は UCC/EAN-128 を設定する事で UCC/EAN-128 で出力できます。UCC/EAN-128 は FN C1" ]C1" から <GS> (7F<sub>16</sub>) までが一まとめとなります。

]C1	データ	<GS>	データ	C/D
-----	-----	------	-----	-----

**文字の付加**

GOA \*付加しない

GOB 付加する

複数のバーコードを連結したデータを一つのデータとみなす設定です。この機能を使用する場合は **付加する** を設定してください。

**チェックデジットの確認**

GQA 確認しない

GQB \*確認する

チェックデジットを確認する設定です。**チェックする** を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックデジットはモジュール 103 を使用しています。

**チェックデジットの出力**

GRA \*出力しない

GRB 出力する

33 ページを参照してください。

# Code-128

設定終了



OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

## 予備機能

\*無効

GPA



有効

GPB



**連続データ**:UCC/EAN-128 を読取る時の<GS>を変更する設定です。**連続データ**を設定した時のみ有効です。初期設定の<GS>は ASCII code(1D<sub>16</sub>)です。他の設定については 25,33 ページを参照してください。

## 特殊機能

先頭文字省略

BBW



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

終端文字省略

BBX



(指定範囲:00<sub>10</sub>-15<sub>10</sub>)

最小コード長

BBU



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

最大コード長

BBV



(指定範囲:00<sub>10</sub>-56<sub>10</sub>)

Code ID

AAM



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

連続データ

ABK



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル

設定開始



Code-93

**Code-93 の読取り**

GTA \*読取らない

GTB 読取る

**データ形式**

データ (可変)	C/D(1) (オプション)	C/D(2) (オプション)
-------------	-------------------	-------------------

C/D=チェックデジット

**文字の付加**

GVA \*付加しない

GVB 付加する

複数のバーコードを連結したデータを1つのデータとみなす設定です。この機能を使用する場合は「付加する」を設定してください。

**チェックデジットの確認**

GWA 確認しない

GWC 1桁確認

GWD \*2桁確認

チェックデジットの確認の設定です。通常チェックデジットは2桁付加されています。尚、チェックデジットはモジュラス47を使用しています。

**チェックデジットの出力**

GXA \*出力しない

GXB 出力する

33 ページを参照してください。

**予備機能**

GUA \*無効

GUB 有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

# Code-93

設定終了



25,33 ページを参照してください。

特別機能	
先頭文字省略 <input type="checkbox"/> BCA	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
終端文字省略 <input type="checkbox"/> BCB	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
最小コード長 <input type="checkbox"/> BBY	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
最大コード長 <input type="checkbox"/> BBZ	 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
Code ID <input type="checkbox"/> AAN	 (指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)

4

シンボル

設定開始



# Code-11

## Code-11 の読取り

GZA \*読取らない

GZB 読取る

### データ形式

データ (可変)	C/D(1) (オプション)	C/D(2) (オプション)
-------------	-------------------	-------------------

C/D=チェックデジット

## チェックデジットの確認

HBA 確認しない

HBC 1桁確認

HBD \*2桁確認

チェックデジットの確認の設定です。通常チェックデジットは2桁付加されています。尚、チェックデジットはモジュラス 11 を使用しています。

## チェックデジットの出力

HCA \*出力しない

HCB 出力する

33 ページを参照してください。

## 予備機能

HAA \*無効

HAB 有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

# Code-11

設定終了



25,33 ページを参照してください。

## 特殊機能

先端文字省略 <input type="checkbox"/> BCE
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
終端文字省略 <input type="checkbox"/> BCF
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -15 <sub>10</sub> )
最小コード長 <input type="checkbox"/> BCC
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
最大コード長 <input type="checkbox"/> BCD
 (指定範囲:00 <sub>10</sub> -56 <sub>10</sub> )
Code ID <input type="checkbox"/> AAO
 (指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> AscII Code)

4

シンボル

## 設定開始



## プレアンブル/ポストアンブル

### プレアンブルの付加

IEA	*設定しない
IEB	設定する

読込んだバーコードのヘッダーとして、文字列を先頭に付加させたい場合はプレアンブルを**設定する**に設定してください。

詳しい出力データの設定の流れについては5ページを参照してください。

### プレアンブルデータ

AAZ	データ 1
(指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)	
ABA	データ 2
(指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)	

プレアンブルデータは、2つのコードが設定可能です。**データ1**と**データ2**を読み込み、送信を行いたいコードをASCII Codeにて設定します。設定されたデータは、読込まれたバーコードデータの先頭に付加されます。

### ポストアンブルの付加

IFA	設定しない
IFB	*設定する

読込んだバーコードデータのフッターとして、文字列を終端に付加させたい場合は、ポストアンブルを**設定する**に設定してください。

詳しい出力データの設定の流れについては5ページを参照してください。

### ポストアンブルデータ

ABB	データ 1
(指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)	
ABC	データ 2
(指定範囲:00 <sub>16</sub> -FF <sub>16</sub> ASCII Code)	

データ終端に通常設定のEnter(改行)以外の設定をする場合はASCII Codeで指定してください。出荷時設定では**データ1**に<CR>(0D<sub>16</sub>)、**データ2**に<LF>(0A<sub>16</sub>)が設定されています。

### 例 データ終端に"@+"を付加する場合

- 1) **設定開始** ⇒ 設定開始
- 2) **設定する** ⇒ ポストアンブルを付加する
- 3) **データ1** ⇒ 4 ⇒ 0 ⇒ **データ2** ⇒ 2 ⇒ B ⇒ **SET** ⇒ プレアンブルデータ"@+"  
"@" "+"
- 4) **設定終了** ⇒ 設定終了

## プリフィックス/サフィックス

設定終了

読込んだデータのヘッダーに15文字(BW-880 シリーズは10文字)以内の文字列を付加させる場合にはプリフィックスを**設定する**に設定してください。この設定はプレアンプルの後に出力されます。詳しい出力設定の流れについては5ページを参照してください。

### プリフィックスの付加

\*付加しない  GA



付加する  GB



全消去  MA



### プリフィックスデータ

データ  ABF



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

読込んだデータのフッターに15文字以内の文字列を付加させる場合にはサフィックスを**設定する**に設定してください。この設定はポストアンプルの前に出力されます。詳しい出力設定の流れについては5ページを参照してください。

### サフィックスの付加

\*設定しない  IHA



設定する  IHB



全消去  INA



### サフィックスデータ

データ  ABG



(指定範囲:00<sub>16</sub>-FF<sub>16</sub> ASCII Code)

**例** データ末尾に"ABCD"を付加する場合

- 1) **設定開始** ⇒ プログラム開始
- 2) **設定する** ⇒ サフィックスを付加する
- 3) **データ** ⇒ **A** ⇒ **B** ⇒ **C** ⇒ **D** ⇒ **SET** ⇒ サフィックスデータ "ABCD"  

"A"	"B"	"C"	"D"
-----	-----	-----	-----
- 4) **設定終了** ⇒ 設定終了



**Code ID 付加**

IBA \*付加しない

IBB 付加する

Code ID を出力する場合には **付加する** を設定してください。

**Code ID 位置**

ICA \*データ前

ICB データ後

上記設定で Code ID を付加する位置を **データ前** か **データ後** で指定してください。

**コード名出力**

IJA \*出力しない

IJB 出力する

読込んだデータのコード名を出力するには **出力する** を選択してください。コード名はデータの前に付加されます。

**予備機能**

IDA \*無効

IDB 有効

OEM 供給時の設定です。  
(通常は使用しません)

## その他

設定終了



タイムアウトオフ、タイムアウト点滅、連続読み取りの設定時、エラーで送信出来なかった場合に最後のデータをスイッチで再送する設定です。エラーがない場合、データはクリアされ再送はされません。

### トリガで再送

\*再送しない  QA



再送する  QB



### 比率設定

\*1:2.5  QA



1:1.35  QB



1:1.5  QC



# サンプルバーコード

## UPC-A



000012345670

## EAN-13 (ISBN) with Add-on 5



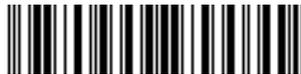
978957221667500420  
(ISBN: 9572216678)

## Code-39 (Full ASCII Code)



\* C O D E 3 9 T + E + S + T \*  
(Full ASCII Code: \*CODE39 Test\*)

## Interleaved 2 of 5



1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 5

## Codabar/NW7



C98765D



D43210A

## Code-128 (C Type)



0123456789e  
(UCC/EAN-128: ]C10123456789e)

## ASCII Code 表

L \ H	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUM
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

キーボードインターフェースで使します。

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

0		%00
1		%01
2		%02
3		%03
4		%04
5		%05
6		%06
7		%07
8		%08
9		%09
A		%0A
B		%0B
C		%0C
D		%0D
E		%0E
F		%0F
SET		%OK

# アイメックス株式会社

〒146-0094  
東京都大田区東矢口 2-4-14  
Tel:03(3750)0511  
Fax:03(3756)0611  
URL:<http://www.aimex.co.jp/>  
E-Mail:[info@aimex.co.jp](mailto:info@aimex.co.jp)

BW880:M-4-090901